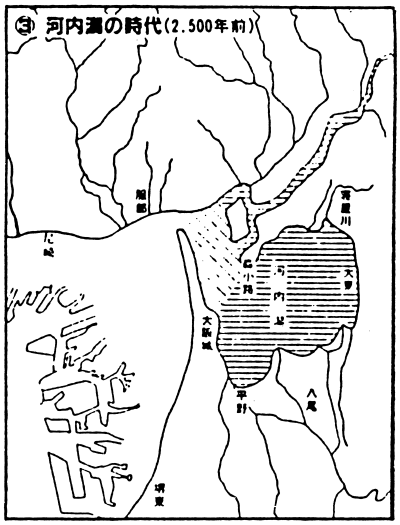
③　河内潟の時代（2500年前）

約2500年前になると、上町台地の西側を流れる沿岸流のため、砂洲は台地から北にのびて、大阪の海ははっきりと２つに区別できるようになった。



Ｑ６．上町台地の東側の海の塩分は、西側の海に比べてどうなったか。

a　濃くなった　b　ほぼ同じ

c　うすくなった

Ｑ７．河内潟の奥の河口には、現在では琵琶湖にしかいないといわれるセタシジミがすんでいた。この貝のすむ環境は、次のどれか。

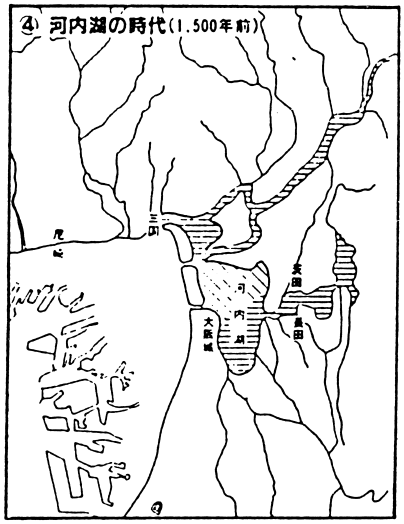
a　海水　　b　汽水　　c　淡水

Ｑ８．この化石のように、地層の堆積当時の環境を示す化石を何と言うか。

a　示準化石　　b　示相化石

④　河内湖の時代（1500年前）

このころ上町台地から北へのびる砂洲がさらに発達し、河内潟の出入口がせまくなり、海水が入らなくなって湖になった。



梶山・市原（1985）を簡略化.

Ｑ９．この後、河内湖は大和川や淀川の運び込む土砂によって埋められていった。河口にできる地形を何というか。

a　三角州　　b　河岸段丘　　c　扇状地

Ｑ１０．河内湖が埋められて平地になった現在も、当時の湖岸を現す地名が残っている。上町台地より東側で、○○津・○○江などの地名を探して、３つ答えなさい。

｛　　｝｛　　｝｛　　｝